

道 徳 便 り

文責：道徳教育担当

「お手伝いほめほめ大作戦」 取組へのご協力ありがとうございました！

お手伝いをして自己有用感を高め、家族から「ありがとう」の言葉掛けやスキンシップをとってもらうことで自己肯定感を高めていってほしいという願いを込めて取り組みました。3回目の取組でしたが、心温まるひとときになったのではないのでしょうか。

子どもたちとお家の方から寄せられた感想をご紹介します。

【子どもたちの感想】

- おふろそうじは、はじめてだったので、ちょっとドキドキしたけれど、がんばってピカピカにできてうれしかったです。
- いつもお手つだいはしていたけれど、ほめられると、やってよかったなと思いました。
- 次のときは「朝ごはんのじゅんぴ」だけじゃなく、毎日ちがうのをやっていきたいなと思いました。
- お母さんやおばあちゃんから、「助かったよ、ありがとう」と言ってもらって、やってよかったなあとと思いました。これからも続けたいです。
- お手伝いをして、お母さんの喜ぶ顔を見るとうれしかったです。
- 私がお手伝いをしたことで、家族の仕事が少しでも減っていたらいいなと思いました。
- 自分からすることができたのでよかったです。次は、おふろそうじとせんたく物以外にも、お皿洗いやくつ並べをしたいです。
- 終わったら「やりきった感」があってよかったです。

【お家の方からの感想】

- 「何か手伝うことある？」と声掛けして手伝ってくれました。助かったよ～！
- お母さんが何のお手伝いをしたら助かるか考えて進んでやってくれました。これからもよろしくね！
- 何も言わずに自分から考えてお手伝いをしてくれたのがうれしかったです。いろんな所に目を向けられるようになりました。
- 普段よりよくお手伝いをしてっていますが、私自身もそれを感謝する表現が足りなかったなと考えさせられました。
- いつもお手伝いありがとう！ 毎日のことで当たり前になっていましたが、今回改めてほめる機会があってよかったです。

お手伝いをすることで温かいふれ合いが生まれ、子どもたちのやる気に繋がっているようです。コロナ禍にあって、どこでも距離をおくことが求められていますが、家族のふれあいは密であってほしいと思います。

春休みにも、お手伝い＆「ありがとう」の言葉掛けを続けていただき、家族の笑顔があふれる毎日を過ごしてほしいと思います。

